



公益財団法人 風に立つライオン基金

〒107-0052 東京都港区赤坂6丁目12番11号 赤坂甲陽ビル5F
Tel. 03-5575-3111 Fax. 03-5575-3112
<https://lion.or.jp/>



公益財団法人
風に立つライオン基金
THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2015

活動報告書

2021.04-2022.03

Annual Report 2021
April-March 2021-2022



設立者ごあいさつ

ささやかだけれど温かな、
目に見える支援を続けて参ります。

いつもわたくしたちをお支え下さって本当にありがとうございます。

新型コロナウイルスとの闘いに無我夢中だったこの2年を振り返りますと、この小さな財団としては精一杯の、力量以上のことができたと自負しております。

専門医とのミーティングを重ねて行ってきた福祉崩壊を防ぐための各地での勉強会「ふんわりチャンボン大作戦」、疲れ果てた医療界の皆さんを支援する「らいおんカフェ大作戦」活動、在宅医療を行う福祉事業のみなさんをささやかにお支えする「がんばれライオン大作戦」など、ささやかでも体温の伝わる支援を行って参りました。

また同時に7月に起きた熱海の土砂災害への支援も軽トラック二台のほか支援金もお届けしました。

さらに、12月の台風22号で被災したフィリピンのセブ地域には、海外の自然災害では初の支援として「セブ日本人会」へ活動支援金をお送りしました。

私達に出来ることは本当に少しですが、それでも現場でがんばる人の勇気に繋がる為に、現場でがんばるボランティアの背中を支える為に日々頑張っています。

ささやかだけれど温かな、目に見える支援を続けて参ります。

どうぞ益々のご支援を御願い申し上げます。

風に立つライオン基金 設立者 さだまさし



理事長ごあいさつ

持続可能な未来のために
心のバトンを繋いでいけるように。

2021年は、前年度から続くコロナ禍により、世界的に厳しい社会情勢となりました。ワクチン接種が進む中でも、オミクロン株の感染拡大により感染者数は前年度を大きく上回り、閉塞感が漂う状況が続きました。また、気候変動が原因と言われる自然災害も世界各地で起き、国内外で深刻な被害を生み出した年でもありました。

そうした環境下、当財団は「海外の奉仕事業者への助成事業」「国内被災地への支援事業」「国内の奉仕活動を讃える顕彰事業」の三本柱に加え、「介護事業所におけるBCP策定助成事業」「熱海土砂災害支援事業」「新型コロナウイルス対策／研修助成事業」などを行いました。

また、設立者さだまさしの提案により、当財団名の元となった楽曲「風に立つライオン」のモデルである医師の柴田紘一郎氏に永久名誉顧問を委嘱いたしました。

そして、これを期に2022年度からは新しい顕彰事業として「風に立つライオン オブ・ザ・イヤー」を創設、「柴田紘一郎賞」「鎌田實賞」の贈賞を行うことになりました。国内外で奉仕活動を行う個人や団体を顕彰することで、その意義ある活動が広く認知され、より多くの支援・協力が集まり、活動がさらに発展・深化していくことを期待しています。

2022年は、パンデミックの最中にロシア軍によるウクライナ侵攻という重大な危機事象が発生し、世界経済にも大きな打撃を及ぼしています。

このことが、私たちの生活にどういう形で影響するかは、これから顕在化していくものと思われますが、当財団はこれまでどおり、支援を求める人々の心に寄り添い、支援する人々の背中を押して、小さくてもぬくもりのある支援を行っていききたいと思います。

また、持続可能な未来のために心のバトンを繋いでいけるように、努力してまいりたいと存じます。

今度ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

風に立つライオン基金 理事長 古竹孝一

風に立つライオン基金とは

存在理由

我々は、小さな『志』の集合体です。

我々は、災害に苦しむ人を支援します。

我々は、ささやかで偉大な活動を行う人を応援します。

我々は、大切なひとの笑顔を守るための「平和」について考え、活動します。

一人一人の小さな思いが、沢山の小さな生命を支えられることを信じます。

「風に立つライオン基金」はその為の組織です。

2015年 夏 さだまさし

活動理念

1. 私たちは「いのち」や「平和」を守る為に奉仕活動や慈善活動をしている個人や団体に対し、細やかな援助をしていきます。
2. 私たちは大規模災害などで被災した方々に対し大きな組織では目の届かない場所や人へ、ささやかでもぬくもりのある支援をしていきます。
3. 私たちは金銭的、経済的な支援だけでなく、人的支援を行うための組織作り、人材育成を行います。

活動内容

1. 助成事業

国内外において「いのち」や「平和」を守るため支援活動や慈善活動を実践している個人、団体に助成し、偉大な志を支援する活動。

2. 災害支援

大規模な自然災害に被災し、心に痛手を負った人々へ物資や炊き出しを届け、慰問コンサートやチャリティイベントなどぬくもりのあるエールを届ける活動。

3. 高校生ボランティア・アワード

日々地道な奉仕活動を実践する高校生が活動を発表し交流することで、理解を深め、連携し、切磋琢磨する場を提供するとともに、それを顕彰し継続と発展を願う活動。

4. 講演・イベント

有識者や著名人をお迎えした講演やチャリティイベントを開催し、参加者に笑顔と幸せを届ける活動。

「風に向かって立つライオンでありたい」

風に立つライオン基金は、国内外において「いのち」や「平和」を守るために奉仕活動や慈善活動を実践している個人・団体を支援しています。

今年度で助成事業は7期目を迎え、のべ45団体に60,713,168円の助成を実施しました。

これからも、「風に立つライオン」の志を応援していきます。

実施期間	2021年4月1日～2022年3月31日
助成総額	13,813,168円
助成団体	8団体

児童養護施設ハウスオブジョイ

ミンダナオ島で親と暮らせない子ども20人の養育

フィリピン共和国ミンダナオ島
ダバオオリエンタルサンインドロ市

助成額 1,000,000円 平和や自然環境等を守る活動

コロナ禍のフィリピンでは、対面授業が2年間禁止され、自宅で宿題をこなすだけの日々に飽き、勉強をやめてしまう子どもが多い課題があった。対して、卒業生2名を雇用し、学習支援とネット環境整備をすることで、子どもたちの学習意欲の向上を促した。結果、16人全員が進級、1人が小学校卒業、1人が高校卒業と大学に入学することができた。



シロアムの園

ウィズまたはポストコロナのケニアの障害児の生活を守る事業

ケニア共和国
キアンブ郡ンデンデル村

助成額 3,000,000円 国際医療

コロナ禍2年目における本事業では、約45名の様々な障がいのある子どもたちの笑顔につながる医療、リハビリ、教育、社会的・精神的な支援などを継続して提供した。更に事業を通して、コロナ禍での子どもたちとご家族の安全を守るための衛生対策の強化、2022年に予定している新施設への移転準備として、スタッフの増員や研修なども積極的に行った。



一般社団法人 共生の会

ケニア共和国ナクル州における巡回診療活動の継続及び拡充

ケニア共和国 ナクル州・ナイロビ市内
カジャド州・キアンブ州

助成額 2,000,000円 国際医療

コロナ禍のため自粛していたナクル州での巡回診療を再開(4回計563名)。また、新たにカジャド州貧困層居住地域の巡回診療(4回計713名)、同州の幼稚園、小・中学校の学童検診(3回計103名)、キアンブ州の児童養護支援施設の学童検診(1回28名)を開始し、巡回診療活動の継続及び拡充を図ることができた。



特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス

地雷埋設地域のコロナ禍で洪水被害を受けた脆弱世帯への自立支援事業

カンボジア王国
バットンバン州カムリエン郡

助成額 2,000,000円 平和や自然環境等を守る活動

コロナ禍のカンボジアで、2020年に洪水被害を受けた脆弱世帯への自立支援事業として、家畜飼育支援を2021年度中に59世帯へ実施。当会の設立した家畜銀行から、牛、ヤギ、鶏、アヒル、豚の貸出と、必要資機材の提供、飼育技術訓練を実施した。借りた数と同数の家畜を返却した後、販売することで、収入源を確保し始めている。



特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)

カンボジアにおける障がい児支援事業

カンボジア王国カンダール州
クサイ・カンダール郡

助成額 1,581,224円 国際医療

40名の保健センター職員及び特別支援学級教員に対して、療育に関する研修を実施し、参加者は脳性麻痺などの症状や補装具の使い方などを学んだ。車いすやマットなど77点を供与し、各施設での障がい児の受け入れ体制を整えた。また、貧困家庭の障がい児延べ116名が病院や専門機関にて治療やリハビリテーション、補装具の支援を受けた。



認定NPO法人 アクセス ー共生社会をめざす地球市民の会

フィリピン農漁村における子どもと保護者のライフスキル強化事業

フィリピン共和国ケソン州
アラバット島ベレーズ町

助成額 1,223,254円 平和や自然環境等を守る活動

就学支援している小学生200名とその保護者に対し、子どもたちが自身の問題や気持ちを表現して大人たちと共有し、自分自身を守る力を身につけることを目指す。昨年度の助成事業で、自己認識力とコミュニケーション力の強化を実施したが、今年度はコロナ禍で外出規制が続く中で必要な「感情との向き合い方」「ストレスの対処の仕方」の学習支援を行った。



一般社団法人 モザンビークのいのちをつなぐ会

モザンビーク共和国テロ被災者支援及び平和教育活動

モザンビーク共和国
カーボデルガド州ベンバ

助成額 2,508,690円 平和や自然環境等を守る活動

モザンビーク共和国カーボデルガド州のイスラム過激派によるテロ被災者支援活動として、カーボデルガド州ベンバに避難民の家(Casa de Paz)を建築し、常時70名以上が居住できるようにした。また南のナンブラ州にベンバの子どもたちの疎開施設として機能するナンブラ寺子屋を整備。またベンバ寺子屋の200名の子どもたちを対象に平和教育を実施した。



熱中症関連疾患に関する多国籍共同研究グループ

熱中症を合併する可能性の高い熱中症関連疾患の発生状況についての多国籍多施設を対象とした疫学調査

日本・タイ・ラオス・ベトナム

助成額 500,000円 国際医療に係る研究

熱中症およびその関連疾患に関する多施設共同研究契約を日本、タイ、ラオス、ベトナムの4か国10施設と締結して、212,907件のデータを収集した。2022年5月現在、データ収集と解析を継続しているが、中間報告を2021年12月18日第11回アジア救急医学会(於香港、2021年12月18日)で発表した。



「ささやかでもぬくもりのある支援」を

2021年、コロナ禍に加え、災害国日本は大雨の脅威にさらされました。7月には、静岡県や神奈川県を中心に大雨が降り、静岡県熱海市では土石流災害が発生。翌8月の豪雨では、九州、北陸、中国地方をはじめ各地で大雨が続き、被害が拡大しました。2021年度は、初めての試みを3つ実施しました。「災害支援としての公募助成」「認定NPO法人ピーク・エイドとの災害支援協定締結」、「海外への災害支援」です。

令和3年7月 伊豆山土砂災害支援

発災から3ヶ月を経た10月4日、設立者さだまさしと理事長古竹孝一が熱海市に伺いました。齊藤栄市長と熱海市社会福祉協議会の櫻井優会長に慰問のご挨拶をし、伊豆山土砂災害の現場を視察いたしました。ボランティア活動資金として、500万円の目録を贈呈させていただき、同日に開設された「熱海市伊豆山ささえ違いセンター」の活動にて、住民の方々の生活支援や心の支援、ボランティア活動時の感染対策等にご活用いただいております。



令和3年8月 大雨災害支援活動助成

コロナ禍における現在の災害支援は、県内在住者に限定され、外部からの支援を届けにくくなっています。こうした状況下、現場に駆けつけたい気持ちを抑え、被災者支援活動等を行うボランティア団体等を応援するため、初めて災害支援の公募助成を実施いたしました。8団体が行う佐賀県・長崎県・福岡県内5市町での活動により1,400名以上の方々の直接的な支援につながりました。



助成件数	8件
助成総額	2,400,000円

■ NPO法人BOND&JUSTICE

大町町での炊き出し支援事業（佐賀県大町町）

■ NPO法人有明支縁会

被災地の生活や作業的支援および復興のためのまちづくり支援事業（長崎県雲仙市・佐賀県武雄市・大町町）

■ 一般社団法人Camp

非住家に流入した土砂の撤去及び床下の清掃活動（福岡県久留米市）

■ 災害NGO結

現地団体の専門・技術サポートと生活環境の改善（佐賀県武雄市・大町町・嬉野市）

■ 被災地支援チームOKBASE

学生による被災地支援サロン活動・足湯プロジェクト（佐賀県武雄市）

■ 一般社団法人CLUB RIO

こどもとボニーのふれあい体験によるアニマルセラピー事業（佐賀県武雄市）

■ 風組関東

生活再建への技術支援事業（佐賀県大町町）

■ NPO法人ななうらステーション

食の支援と生活再建支援事業（佐賀県武雄市）



「風に立つライオン基金×ピーク・エイド」災害支援協定締結

国内外で災害支援に取り組むアルピニスト野口健氏が設立した「認定NPO法人ピーク・エイド」と大規模災害に備え、災害支援協定を締結し、記者発表を行いました。お互いの強みやノウハウを生かして、活動の可能性を広げ、迅速且つ効果的な災害支援につなげていきます。



台風22号 セブ活動支援金（フィリピン）

2021年12月16日、フィリピンのセブ地域を大型台風22号が通過し、多くの家屋が全壊・半壊などの甚大な被害をもたらしました。当財団初の海外への被災地支援として、被災直後から、支援の届きづらい人々に、顔の見える形で支援活動を実施されている「セブ日本人会」様に活動支援金200万円をお送りいたしました。

支援地域	セブ島ラプラプ市周辺の5つの離島
寄贈品	漁船8艘および漁網
受益者数	直接支援1,179名 間接支援4,716名



活動支援金により、漁船8艘「風に立つライオン丸」が5つの被災離島に寄贈され、各島の漁協組合の管理のもと、漁師の生活再建と地域活性化のために活用されています。被災地の1日も早い復興と、「風に立つライオン丸」がセブの美しい海を帆走し、日比の友好の絆がさらに強まることを心よりお祈りいたします。



災害支援（新型コロナウイルス感染症対策支援）



ウィズコロナも2年目と長期化し、閉塞感が日本中を覆っていました。昨年度に続き、さだまさしを始め、評議員の鎌田實先生や医療/介護福祉専門家の方々と定期的に会議を重ね、支援を実施いたしました。

地域の仲間とすすめる 「いのちと志をつなぐ災害準備計画」策定 助成

感染症や災害に対して、平時の備えおよび被害の最小化のためには、地域全体で連携することが重要となります。その基盤となる地域ぐるみでの介護・福祉事業等の業務継続計画（BCP）の策定を支援しました。普段の暮らしの中での支え合いと豊かなケア、有事において「いのち」と「生活」を守る支援のあり方を目指しました。

助成件数	2件
助成地域	千葉県流山市、鹿児島県霧島市
助成総額	1,240,264 円



らいおんカフェ大作戦 第二・三弾

2020年度にも実施した、「らいおんカフェ大作戦」を今年度は2回実施しました。長期化し、先が見えない中奮闘する医療/福祉機関や保健所のみなさまへ、休憩時間にひと息入れていただくため、コーヒーなどをお送りさせていただきました。

第二弾

実施期間	4～5月
直接寄贈施設数	59箇所
送付物資	チルドコーヒー 9,912本 のどあめ 約4,370個・袋 ※一部、株式会社浅田飴様ご寄贈

第三弾

実施期間	10月1日～10月18日
直接寄贈施設数	29箇所
送付物資	チルドコーヒー 15,312本



みなさまのお声 ※一部抜粋

「日常業務に疲弊するスタッフたちに対して、まさに物心両面に潤いを与えてくださいました」

「スタッフ一同大興奮でした」

「医療が太陽ならば介護事業所は月なのかもしれません。その介護事業所にもしっかり光を当ててください本当にうれしくおもいました」

「スタッフからは『あの時の緊張感とストレスが一気に吹き飛んだ』と、共感してくださる方の存在に大きな力をいただきました」

「スタッフたち、大喜びでめいめいに持ち帰ったりその場で一服したりしておりました。どうしても疲弊しがちなこの頃ですが、本当にリフレッシュの一本になりました」

「職員数が減り活動を分けることができず、密の状態が増え感染防止策がうまく機能せず、職員が一気に疲労困憊でした。そんな時にコーヒーが届き、本当にありがたかったです。久しぶりにスマイルが戻りました。もう少し頑張っていけそうです」

スマイルコーヒープロジェクト 第二弾

猿田彦珈琲株式会社とのチャリティ企画。国際品評会1位受賞のコーヒー“エチオピア チャンピオン ドリップバッグ”の売上から、3,561枚のホスピタリティブレンドをご寄付いただき、医療/福祉機関や保健所などで新型コロナウイルス感染症対策に携わる方々にお届けいたしました。

※本チャリティーは、終了いたしました。



災害支援（新型コロナウイルス感染症対策支援）



スーダン保健省への感染防御物資

認定NPO法人ロシナンテスを通じて、スーダン共和国保健省にCOVID-19感染症対策として防護服とKN95マスクを支援しました。医薬品等が不足する同国において、医療従事者の安全を守り、より良い治療を届けるために活用されています。

支援内容	タイベックスーツ 200枚 KN95マスク 3,000枚
プロジェクトパートナー	ハルツーム州保健省 非営利団体部門、 および緊急対策部門
寄贈先	保健省設立のCOVID-19感染症対策 隔離センター2箇所 ハルツーム州オムドゥルマン教育病院 (Omdurman Teaching Hospital) ハルツーム州ジャブラ救急救命病院 (Jabra Hospital for Emergency and Injuries)
対象者	隔離センターの医療従事者140名 隔離センターの病床数 120床(間接的裨益者)



自宅療養者への後方支援

第5波が猛威をふるう中、入院ができずに自宅に必要な診療が受けられないため、不安を抱えながら孤独と闘う方々がいました。京都や大阪でこうした自宅療養者へ医療提供を行うKISA2隊の活動を知り、後方支援を実施しました。

■ 寄贈支援

- バルスオキシメーター6台
(内3台はマシモジャパン株式会社様モニター提供)
- 個人防護具一式
(ガウン・KN95マスク・フェイスシールド・アルコール消毒液等)



■ 無償貸与支援

- 風に立つライオン6号
(カーコンビニ倶楽部株式会社様、車両とステッカー提供)
- 風に立つライオン6.5号
(カーコンビニ倶楽部株式会社様、電動アシスト自転車提供)



■ 「ライオン食堂」
生活困窮者含む自宅療養者、
クラスター発生施設の方々への食料支援



実施期間	3月8日～実施中
内容	物資支援 約100万円相当および ゼリー等食用調整食品3,789,600円相当 (株式会社サラヤ様ご寄贈)
対象者	主に大阪市内の自宅療養者および介護福祉施設



がんばれライオン大作戦 第二弾 助成

自らの危険を承知で“生命”を守る為に、懸命に闘っている日本中の医療・介護福祉従事者を応援するため、公募助成「がんばれライオン大作戦 第二弾」を実施しました。
新型コロナウイルス感染症患者を支援してくれた小規模の医療・介護・福祉事業者に、感謝と慰労の気持ちをお伝えし、また、第6波に対応して、これから支援に入る意思のある医療・介護・福祉事業者への研修実施を後押ししました。

助成件数	6件
助成総額	1,284,053 円



■ 助成団体からの声 ※一部抜粋

「今回の助成により様々な職種の参加者が自信を持って対応できるようになりました」

「声なき声を聞き、個別ケアと全体のケアを両立させる必要があります。その中でライオン基金さんの小さくて大きな志を支援するという姿勢は本当に助かります」

「さまざまな方面からの医療・介護への支援が増えると我々もエンパワーメントされます」

「志を支援するという風に立つライオン基金のご支援のおかげで、表からは見えにくい偉大なる志を応援し、エンパワーすることに繋がりました。心から感謝申し上げます」

高校生ボランティア・アワード2021

新型コロナウイルス感染症の第5波が日本で猛威をふるう中、高校生にとってかけがえのない貴重な体験になるよう、会場開催に向けて直前まで検討を重ねてまいりました。しかしながら、高校生や参加者の方々の安全を最優先にすべく、第6回目の「高校生ボランティア・アワード2021」は、苦渋のオンライン開催となりました。

高校生たちは活動が制限される中でも「今、自分たちにできること」を模索しながら、活動を継続。だからこそ、オンラインであっても、全国の志を同じくする仲間たちと、時間と想いを共有することは、大きな勇気に繋がったことと思います。



エントリー数	113団体(129校)
参加数	108団体(124校)
発表交流会	参加団体数/102 7月27日～8月3日(11回) 各参加団体3分間のプレゼン+質疑応答。同グループの団体の投票により、全国大会で発表する16団体を選抜しました。
動画・ポスターWEB投票大会	8月1日～14日 参加団体の活動紹介動画とポスターを公式WEBサイトにアップし、公開投票を実施しました。 投票数/26,546票 (動画 13,455票/ポスター 13,091票)
全国大会	8月17日 10:00～17:30 参加団体はオンラインで参加し、選抜団体の発表と高校生同士の交流、シンポジウムでゲストとの質疑応答、特別表彰式を行いました。全編、YouTubeでも生配信。 視聴回数:5,227回

大会ロゴマーク

テーマ 「SDGs」「志(こころざし)」「未来」
応募数 231点



【最優秀作品】市立札幌開成中等教育学校 郷 瑛太さん

発表大会

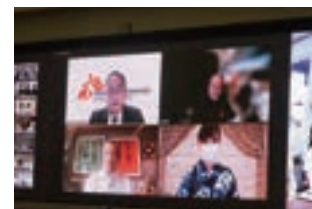
環境問題や介護福祉、国際協力、被災地復興、医療、農業…、本当に様々な分野で、まさに「みんな違ってみんないい」活動のオンパレード。質疑応答では、大会委員長のさだまさしやテツandトモさんからのコメントに真剣に聞き入る場面や、高校生同士で質問や感想を伝え合い、活発な交流となりました。

住んでいる場所や活動が違って志は一つ。「誰かのためになりたい」その思いで頑張っていることがひしひしと伝わってきました。



シンポジウム

著名人を迎えたシンポジウムでは、テツandトモさん、アルビニストの野口健さんが会場にご参列くださり、オンラインで、国境なき医師団日本会長・久留宮隆先生、諏訪中央病院名誉院長にして風に立つライオン基金評議員の鎌田実先生、新羅慎二さん、ももいろクローバーZの高城れにさん、そしてさだまさしの総勢7名がパネリストとして参加。高校生たちが事前に答えてくれたアンケートを元に、パネリストから高校生に質問を投げかける形で実施しました。



特別表彰式

高校生ボランティア・アワードはボランティアを行う高校生たちの「志」を応援する大会であり、全てのエントリー団体を平等に表彰しています。加えて、応援団や協賛企業から特に気に入った団体に特別賞を贈呈いただいています。今年は協賛10社各賞に、応援団・パネリストからの各賞、さだまさし賞と17の特別賞、さらに、一般投票により、動画部門とポスター部門の最多得票賞を贈呈。活動が認められ、受賞した生徒たちの笑顔が素晴らしいかったです。



今大会最大の実績は交流会だったように思います。エントリーした殆どの団体が自分たちの活動をきちんと発表し、他団体の活動を知り、質疑応答を通して交流することができ、活動が広がっていく可能性を感じることができました。

ますます活発に交流して、より大きなムーブメントにつながることを、そして、来年こそは会場で高校生たちの笑顔に直接会えることを願っています。

「高校生ボランティア・アワード2021」開催にあたり、ご寄付くださった皆様、投票にご参加くださった皆様、YouTube配信をご観くださった皆様、日頃より応援くださっている全ての皆様に、心より御礼を申し上げます。

パネリスト



当法人評議員
諏訪中央病院 名誉院長
鎌田 実



国境なき医師団(MSF)日本会長
外科医
久留宮 隆



大会委員長
さだまさし



ももいろクローバーZ
高城 れに



お笑い芸人
テツandトモ



湘南乃風「若旦那」
ミュージシャン
新羅 慎二



アルビニスト
野口 健



元東海ラジオ放送
川島 葵

※五十音順・敬称略



詳細はこちら

主催：公益財団法人 風に立つライオン基金/名古屋国際会議場

共催：東海ラジオ放送/東海テレビ放送/中日新聞社

後援：内閣府/社会福祉法人 NHK厚生文化事業団/愛知県/愛知県教育委員会/社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会

特別応援：国境なき医師団日本

※協賛社は17ページに掲載 ※順不同・敬称略

感染対策を徹底し、有観客で

徐々にイベント開催のガイドラインも整備され、昨年は無観客開催となったチャリティコンサートは、感染対策を徹底し、有観客で実施することができました。他にも、日本救急医学会総会・学術集会で鎌田先生と対面での登壇、長崎大学主催のウィズコロナイベントでの登壇、すっかり定着したオンラインイベントなど、複数の機会にお声がけいただきました。



さだまさしチャリティーコンサート2021

昨年は無観客開催となったチャリティコンサートを、2年ぶりに有観客で実施することができました。これもひとえに、感染対策にご協力いただける観客の皆様のご協力のおかげでございます。会場に足を運んでくださった方々、チャリティグッズをご購入いただいた方々に、心より御礼申し上げます。

主催	公益財団法人 風に立つライオン基金
開催日時	2021年8月16日
場所	名古屋国際会議場センチュリーホール



第49回 日本救急医学会総会・学術集会

2021年11月21日、評議員の鎌田實先生にお声がけいただき、「第49回 日本救急医学会総会・学術集会」にさだまさしが登壇しました。鎌田先生と一緒に、日本中から集まった救急医や、救急医療関係者各位に向けて「コロナ最前線で戦う救急医療医へエール～あったかトークと音楽～」をお届けしました。2人で駆けつけた東日本大震災への支援や、風に立つライオン基金設立の歴史、新型コロナウイルス感染症対策について対談しました。



ウィズ・コロナイベント 風に向かって立つ

2021年12月9日、長崎大学主催の「ウィズ・コロナイベント 風に向かって立つ」(後援:風に立つライオン基金)にさだまさしが登壇しました。株式会社ジャパネットたかた創業者の高田明氏と、認定NPO法人 ロシナンテス設立者の医師川原尚行氏と一緒に、故郷長崎から「長崎から世界を変えていきましょう!」とエールをお届けしました。



緊急企画 第6波に備える! 新型コロナ訪問診療チームのスキーム大公開

2021年12月12日、当財団が後方支援をしているKISA2隊が参加するオンラインイベントに、鎌田先生とさだまさしが登壇しました。日本中の医療関係者の志がつながるひとつのきっかけになっていたら幸いです。



「風の会員」募集中

日本中の人々の元気と勇気、叡智、心を集結した“生命”を守るために闘おうとする
“意志”を組織を創る志を募集しています。



会員登録はこちら

風の団	出動要請に応じて被災地支援やイベント協力などの活動にご参加いただきます。			
	専門団 医療系資格などの 専門技能を活かす	会員種別：個人 年会費：1万円	奉仕団 キャリアやその他の 持てる力を活かす	会員種別：個人 年会費：1万円
	支援団 会費によって風の 団の活動を支える	会員種別：個人 年会費：1万円	会員種別：法人 年会費：1口10万円	会員種別：特別法人 年会費：1口30万円～

風に立つ ライオン・ ユース	学校や活動分野の垣根を越えて、自由に活発な交流をしながら切磋琢磨していきます。	
	会員種別：個人 年会費：無料 対象：学生・新社会人	会員種別：認定校 年会費：無料 対象：認定団体

会員特典	会員証、メルマガ、イベント等優先案内、グッズ販売 など ※会員種別により異なります。
------	---

ライオンカフェWEB ～情報共有プラットフォーム～

「ささやかで偉大な志が集い、活動する場」として、風の会員限定の情報プラットフォーム「ライオンカフェWEB」を立ち上げました。ライオンカフェWEBを活用することで、専門家や活動家がいつでもどこでもだれとでもつながることができます。平時の情報交換や連携から新規プロジェクトの創出を促し、災害発生などの有事には支援の初動を迅速にして、多くの大切ないのちを護ることを目指します。



定例ミーティング



風の団の活動報告

- ①コロナ禍で対面の活動が制限される中、オンラインでの勉強会やミーティングを実施しました。テーマごとに「ボランティア勉強会」を4回実施し、のべ84名が参加。風の団専門団の医師のみなさまにご協力いただきました。
- ②災害医療支援活動を活性化するため、専門団の有志で「災害医療支援ワーキンググループ」を結成し、10月から月に一度、定例の交流と話し合いを開始。
- ③風の会員限定の情報共有プラットフォーム「ライオンカフェWEB」の運営ボランティアの活動も2月から開始し、のべ94名が参加して活発な交流と意見交換を実施しています。

2021年度ボランティア勉強会

避難所での感染症コントロールのポイント	武居光雄氏(専門団)
災害医療支援の活動について	鈴記好博氏(専門団)
いのちの理由～コウノボリの現場から、あなたへ	寺澤大祐氏(専門団)
災害ボランティア入門	一般社団法人 ピースボート災害支援センター



風の団「ボランティア勉強会」

風の団の声

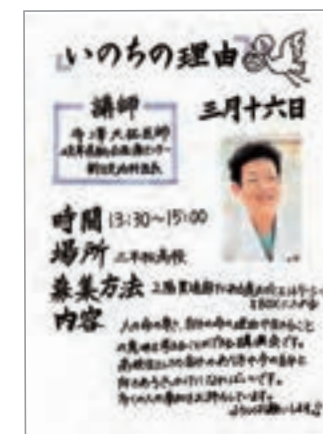
「ひとりじゃない!同じ方向を向いて気持ちをひとつにできる仲間がたくさんいるんだ!という感動のシャワーを何度浴びたことでしょう!心はこれからも成長できる!と思えることが何より入って良かったことです。」

「以前から『何かお手伝いをしたい』と思っていましたが、一歩踏み出せませんでした。その時にライオン基金を知り、入団しました。講習会に参加して『出来ることを』

風に立つライオン・ユースの活動報告

12月に実施した会員向け勉強会(専門団)において、風に立つライオン・ユースの活動につながるうれしい報告がありました。勉強会に参加した生徒が「今の自分の生き方を考えさせられる講演で、ぜひ友達にも寺澤先生の話聞いて欲しい」と思い立ち、寺澤先生にメールでご連絡。寺澤先生は、「高校生が主体的に講演会を企画しようと動く姿に感動した」と、岐阜から香川にかけてくださいました。

実行委員6名でチラシ作成・配布、募集動画の作成・上映等で呼びかけ、約60名が参加。2時間半に渡る講演・フリートークに引き込まれ、時には涙しながら聴き入っていたそうです。風の会員同士、ささやかで偉大な「志」が繋がる素晴らしい機会となりました。



出来る時に 出来るだけ』と気づき、出来る範囲で楽しく参加しています。」

「漠然とボランティアをしたいと思うだけで躊躇していましたが、風の団に入り同じ思いの仲間に出会い、同じ志を持つ仲間と勉強会や活動に一歩を踏み出すことが出来ました。」

法人・団体とのパートナーシップ

ご支援くださった法人のみなさま



法人や、団体のみなさまの特徴や製品を活かした協働により、支援の輪と可能性を大きく拡げることができます。
みなさまの優れたスキルやノウハウで、ささやかで偉大な志を共に応援してまいりますと幸いです。

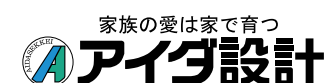
法人会員になって応援

企業・団体として風の団「支援団」に加入、会費をいただくことによって、当財団や風の団の活動をサポートいただいております。
会員特典として、感謝状や感謝盾の贈呈および、HPや年次報告書等に企業・団体名を掲載させていただきます。

イベント協賛で応援

高校生ボランティア・アワードやさだまさしチャリティ・コンサートをはじめ、当法人が主催するイベントへの協賛を、広く募集しています。新たな企画アイデアも、ぜひ一緒に創りあげていきましょう。

■ 高校生ボランティア・アワード2021協賛各社



寄付で応援

頂いた寄付金や寄贈品を追い風にして、災害時などに支援を必要とする方々や偉大な志の活動へ、支援の輪を広げていきます。

※当法人への寄付金は、特定公益増進法人に対する寄付金として、法人税法上の損金算入限度額が通常の損金算入限度額とは別枠で認められます。限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。詳しくは、上記QRコードからホームページをご確認ください。



寄付はこちら

2021年度のパートナーシップ

■ THE 8 MEN'S チャリティマッチプレーゴルフ IN 川奈

ツアー優勝経験者の男子プロによるチャリティマッチプレーゴルフ「BSフジ開局20周年スポーツスペシャル THE 8 MEN'S チャリティマッチプレーゴルフ IN 川奈※」を通じて、「株式会社 ビーエスフジ」様より計2,338,150円を、熱海市災害被災者への支援のため、ご寄付いただきました。同チャリティは、「株式会社 ランダムアソシエイツ」様のご尽力により当法人へのご支援が実現しました。（ご寄付内訳：獲得賞金の50%2,200,000円、選手のサイン入りチャリティグッズ販売の一部138,150円）

※2021年9月11日～12日放映 於：川奈ホテルゴルフコース富士コース



■ 「富士通レディース2021」チャリティ

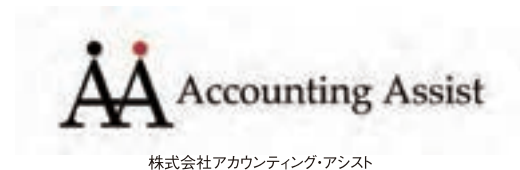
日本女子プロゴルフ協会公認のトーナメント「富士通レディース2021※」を通じて、大会の収益金の一部400万円を、「富士通株式会社」様より、新型コロナウイルス感染症対策支援のための資金としてご寄付いただきました。また、大会最終日が雨で中止となり、短縮競技による賞金（減額分）を「一般社団法人 日本女子プロゴルフ協会」様より、1,500万円ご寄付いただきました。

※2021年10月15日～17日、於：東急セブンハンドレッドクラブ



風の団支援団

■ 特別法人会員



■ 法人会員

アートレイクゴルフ倶楽部

有限会社スズキオートセンター小塚

医療法人社団亀生会 丹生クリニック

ハルテック株式会社

株式会社ビッグ・ハンズ大分

ご寄付



株式会社ランダムアソシエイツ

有限会社ファイティングスピリッツ(角田信朗様)

※10万円(相当)以上のご支援を頂いた法人・団体のみなさまを、五十音順・敬称略で掲載させていただいております。

ご支援案内

2021



風に立つライオン基金の活動は、みなさまの温かなご支援により支えられています。
頂いた寄付金や募金・会費・協力を追い風にして、必要とする方々や偉大な志へ支援の輪を広げていきます。

風の団に参加する

風の団は、基金が運営する支援組織です。要請に応じて被災地支援などの活動にご参加いただく会員です。医療系資格などの専門技能を活かして活動していただく「専門団」と、専門資格を必要としない「奉仕団」、会費によって風の団の活動を支える「支援団」があります。

※詳しくはP15「風の会員活動報告」をご確認ください。

継続的に寄付する

月々1,000円から、クレジットカードによりご支援いただけます。



寄付はこちら

今回のみ寄付する

クレジットカードもしくは銀行振込によりご支援いただけます。

遺贈・相続財産で寄付する

風に立つライオン基金は、いのちといのちをつなぎます。我々の活動にご理解・ご支援くださる方々が年々増えており、遺贈や相続財産のお問い合わせも沢山いただくようになりました。託していただいた故人および相続人の方からの志を、次世代の支援を必要とする方々へつないでゆきます。

※資料をご希望の際は、事務局までお問い合わせください。

これまでご支援いただいたご寄付のご報告

	支援人数	支援金額
第七期(2021年度)	6,174 人	83,805,622 円
第六期(2020年度)	6,845 人	136,190,466 円
第五期(2019年度)	2,635 人	45,472,959 円
第四期(2018年度)	2,393 人	55,306,226 円
第三期(2017年度)	1,683 人	28,956,869 円
第二期(2016年度)	1,646 人	52,278,107 円
第一期(2015年度)	689 人	68,871,580 円
累計	22,065 人	470,870,826 円

※2022年3月31日までの集計です。
※コンサート、イベント会場等でいただいた募金は支援金額のみ加算しており、支援人数には反映しておりません。
※各期は、4月1日～3月31日となります。(第一期のみ、2015年8月10日～2016年3月31日)

グッズを買って応援する

風に立つライオン基金のオリジナルグッズや、コラボレーション商品をご購入いただくことで、手軽に応援いただくことができます。環境や人道負荷が少ない商品や、生産者が紡ぐストーリーへの共感が、社会貢献につながる世界を目指しています。企業や団体のみなさまからのコラボレーションのご提案もお待ちしています。



グッズ購入はこちら



折りたたみ電動アシスト自転車「eco★ベダル」
(カーコンビニ倶楽部株式会社)



さだ彦珈琲のカフェオレのもと・さだ彦珈琲のコーヒゼリー
(猿田彦珈琲株式会社)

■ 寄付金控除・領収書について

風に立つライオン基金は、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当法人へのご寄付は寄付金控除等の税の優遇措置(減税)を受けることができます。確定申告を行うことで、個人の場合は寄付額に対して最大40～45%が還付されます。
詳しくは、ホームページをご確認ください。

メディア実績

大変ありがたいことに、様々なメディアに掲載いただいております。
ホームページもリニューアルし、今後もより多くの方に支援が届くよう発信してまいります。

新聞

秋田魁新報
朝日新聞
熱海ネット新聞
あなたの静岡新聞(WEB)
茨城新聞
京都新聞
河北新報
静岡新聞
下野新聞
中日新聞

徳島新聞
長崎新聞
西日本新聞me
日刊伊豆毎日新聞
福井新聞
毎日新聞
まにら新聞(フィリピン)
宮崎日日新聞
琉球新聞
読売新聞

テレビ

FNNプライムオンライン
mrt宮崎放送
NHK NEWS WEB
NHK総合テレビジョン

静岡第一テレビ
静岡放送(SBS)
テレビ静岡

ラジオ

JFNC 「OH! HAPPY MORNING」
東海ラジオ 「源石和輝!抽斗!」
文化放送 「鎌田實×村上信夫 日曜はがんばらない」

雑誌

Pipette 「さだまさし「こころ」「出会い」「いのち」
からこころ 「わたしの気分転換 第57回 さだまさしさん」

※五十音順・重複を除きます。

書籍

■ 「ボランティアをやりたい! 高校生ボランティア・アワードに集まれ」
岩波ジュニア新書

■ 「緊急事態宣言の夜に ボクたちの新型コロナ戦記2020」幻冬舎



HPリニューアルのお知らせ

2021年9月にホームページをリニューアルいたしました。
わかりやすくなった新しいホームページで、活動情報を多くの方々に知っていただき、賛同くださる方々の志の輪を広げていきたいと考えています。



風に立つライオン放送局



2020年8月、「風に立つライオン放送局」を公式YouTubeで開設し、風に立つライオン基金の活動や、ささやかで偉大な志の想いなどを発信しています。特別編を含めて、これまで45回の放送を配信しました。
定期的に更新していきますので、チャンネル登録とお気に入り動画への「いいね」をよろしくお願いいたします。



風に立つライオン放送局
公式YouTube



YouTube
#1「風に立つライオン放送局」
開設!



YouTube
【特別編】風に立つライオン基金
ヒストリー2021



当法人では、公正で開かれた活動を推進するため、定款、事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、貸借対照表などすべてをホームページに公開しています。

正味財産増減計算書

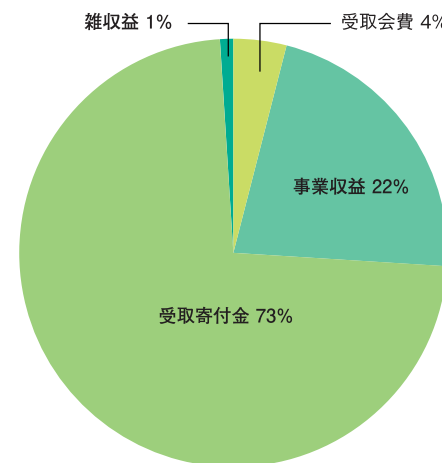
経常収益	基本財産運用益	0
	特定資産運用益	0
	受取会費	4,865,000
	事業収益	26,749,680
	受取補助金等	0
	受取負担金	0
	受取寄付金	88,687,382
	雑収益	1,759,907
	経常収益計	122,061,969
経常費用	事業費	109,904,687
	管理費	18,701,151
	経常費計	128,605,838
当期経常増減額		△6,543,869
法人税等		△220,000
一般正味財産期首残高		156,177,230
一般正味財産期末残高		149,413,361
指定正味財産期末残高		0
正味財産期末残高		149,413,361

※2021年4月1日から2022年3月31日まで(単位:円)

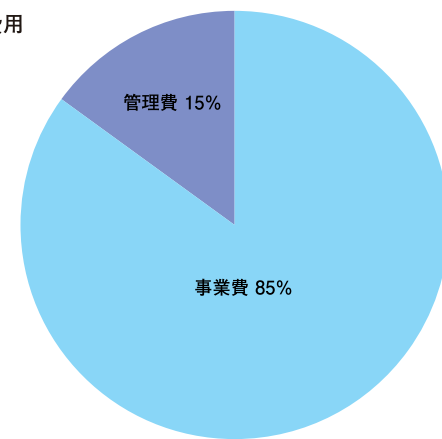
貸借対照表

資産の部	当年度	前年度
流動資産		
現金預金	37,511,093	76,744,437
その他流動資産	15,624,346	3,088,233
流動資産合計	53,135,439	79,832,670
固定資産		
基本財産	0	0
特定資産	100,000,000	100,000,000
その他の固定資産	2,155,049	1,500,302
固定資産計	102,155,049	101,500,302
資産合計	155,290,488	181,332,972

経常収益



経常費用



負債の部	当年度	前年度
流動負債	5,877,127	25,155,742
固定負債	0	0
負債合計	5,877,127	25,155,742

正味財産の部	当年度	前年度
指定正味財産	0	0
一般正味財産	149,413,361	156,177,230
正味財産合計	149,413,361	156,177,230
負債及び正味財産合計	155,290,488	181,332,972

※2022年3月31日現在(単位:円)

組織概要

名称	公益財団法人 風に立つライオン基金
設立日	2015年8月10日
公益認定日	2017年7月13日(内閣府より／同7月21日登記)
設立者	さだまさし(佐田雅志)
所在地	本部 〒107-0052 東京都港区赤坂6-12-11 赤坂甲陽ビル
	四国支部 〒760-0034 香川県高松市内町1-13 日新内町ビル
	関西支部 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第三ビル31F
	東北復興支部 〒986-0847 宮城県石巻市中浦1-2-34

役員

評議員	鎌田 實	諏訪中央病院名誉院長
	佐渡 裕	指揮者
	古田敦也	スポーツキャスター
	戸張 捷	ゴルフトーナメントプロデューサー
	松本秀男	一般社団法人日本ほめる達人協会 専務理事

理事	理事長	古竹孝一
	副理事長	千葉恵弘
	理事	佐田雅志
	理事	佐田繁理
	理事	早野秀之
	理事	安西範康
	理事	伊澤武志
	監事	桑野博輔